

◆ 平成 23 年度（後期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	高等教育推進 部門委員	メールによる記入方式アンケート（1月中旬を予定）	未定	<p>実施目的 ・カリキュラムの内容検討 ・学生の意識，意見の徴収</p> <p>実施内容 年度計画で取り上げてきたカリキュラムの見直しの一環として，フレッシュマンセミナーの在り方や試行中の CAP 制の後追い調査などを行う。また，科目ごとの授業評価ではなく，学生の意見を聴取する目的で学生へのアンケートや意見交換会を企画する。</p> <p>その他 学生との意見交換会はここ数年，定期的を実施している。</p>
経営情報学部	西脇 廣治	学生の状況により，学部教員，および，卒論指導の教員，副指導の教員，教務担当の教員，および教学課の担当者での，状況確認，対策協議の会合を持つ予定である。開催は，学生の勉学状況などに応じて，随時である。	研究室，教室，会議室など，種々の場所が活動の場所になる。学外もあるかもしれない。	<p>実施目的 広島県立大学経営学部過年度学生への対策が目的。この目的のためには，経営情報学部教員・教学課担当者との情報交換，協力関係の構築が重要になる。したがって，これらの者が参加することになる。</p> <p>実施内容 3つ以内のキーワード：過年度学生，広島県立大学 広島県立大学過年度学生の対策は，経営情報学部の重要課題のひとつである。指導教員，教学課の協力指導体制によって，広島県立大学過年度学生の，少しでも早い（できれば，今年度の）卒業を目指して，種々の指導，活動をおこなう。</p>
保健福祉学部 看護学科	山中 道代，黒田 寿美恵，宮本 奈 美子，大内 隆， 渡辺 陽子	平成 24 年 2 月上旬～中旬実施予定（講師と日程調整中）	三原キャンパス 三原地域連携センター（4102） 予定	<p>テーマ 教員のファシリテーション能力強化のための取り組み</p> <p>実施目的 看護教育の中では，模擬患者を使った教育方法やグループワークなどさまざまな場面でファシリテーション能力が求められる。そこで，教員のファシリテーション能力向上のための取り組みを FD 活動促進事業として行っている。ファシリテーション能力を身につけるには，実際に行ってみることが重要であるため，研修会の開催を計画した。この能力は看護学科のみならず，全学科の教員に必要なため，研修会の対象者を保健福祉学部教員とする。</p> <p>実施内容 講義と演習を合わせて 3 時間程度の研修会を計画している。ファシリテーションに必要な 5 つの要素のうち，焦点を場のデザインに絞って研修を行う。 講演テーマ：教員が行うファシリテーション（仮） 講師：九州大学大学院総合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行（内諾） 演習：カンファレンスやグループワークで行う場のデザイン（仮）</p> <p>その他 研修会に向けての基礎知識習得のため，3 回の学習会，2 回の伝達講習を行っている。 平成 23 年度第三回学習会：平成 23 年 10 月 18 日（火）13：00～14：30（宮本講師） 平成 23 年度第二回伝達講習：平成 23 年 11 月 15 日（火）13：00～14：30（宮本講師，山中准教授） ＊前期分については，「学部・学科・研究科（専攻）等での FD 活動（教育改善）実施状況について」前期報告書に記載している。</p>
保健福祉学部 看護学科 教育課程検討会	松森 直美	9 月～10 月調査用紙作成 11 月調査実施 12～1 月結果の分析・考察 2 月まとめ	3423 会議室	<p>テーマ 看護学科教育課程の評価と今後の展望に関する検討</p> <p>実施目的 平成 24 年度以降，保健師教育課程選択制の導入により，看護学科の改正カリキュラムによる教育課程が実施される。保健師教育については主に公衆衛生看護学として特化して講義・実習を行うことや看護師課程においては看護専門科目を増設し，統合科目（在宅看護，看護管理，災害看護など）およびシミュレーション教育の充実を図ることが計画されている。これを機に改正前のカリキュラムおよび教育体制を評価し，改正カリキュラム施行及び教育改善の参考とすることが必要である。そこで，今後の教育課程を検討する上でカリキュラム改正前の看護学科の教育に関する在校生・卒業生および実習施設，就業施設を対象とした質問紙調査を実施し将来構想のための資料収集を行う。</p> <p>実施内容 その他 毎月 1 回開催される教育課程検討会で調査用紙の作成，調査結果の分析等を実施する。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
保健福祉学部 理学療法学科	大塚 彰	学科会議時の討議・検討は 毎週水曜日・1時限目 勉強会としては月 1 回第 2 水曜日・1時限目	2416 会議室	実施目的 学生の学内および学外（臨床実習）での学習を支援する。また、学科教員の教育方法論に関する知識・技術を深める。 実施内容 ①臨床実習中の学生の学習支援および学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援についての対応を討議する。②主として教育方法に関わる勉強会を実施する。 その他 勉強会（FD）の場合は学部全体に事前に内容等についてメールにて案内し、他学科よりの参加者を認める。
保健福祉学部 作業療法学科	土田 玲子①田丸 政男②山西 葉子, 高木 雅之 ③藤巻 康一郎	①平成 23 年 12 月 14 日 (水) 12 時 30 分～13 時 ②平成 23 年 1 月 11 日 (水) 12 時 30 分～13 時 ③平成 24 年 3 月 28 日 (水) 12 時 30 分～13 時	2416 会議室	テーマ ①医療系学部における教養教育と専門基礎教育の在り方②アジア太平洋地域の作業療法の動向③学生のメンタルヘルス 実施目的 ①医療系学部では、国家試験受験資格のための指定教科の比重が高いことや、学生の目的意識が高いことから、教養教育科目や専門基礎科目の比重が低く評価される。本 FD では、医療人として必要な教養や専門基礎能力の重要性について再考するために実施する。 ②第 5 回アジア太平洋作業療法学会の報告を聞き、この地域の作業療法教育と研究の動向を知る。 ③学生のメンタルヘルスについて理解する。 実施内容 ①医療系学部、教養教育、専門基礎教育 ②作業療法、研究 ③精神保健
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	城本 修	1 については、随時（月 1 回程度）実施する予定。 2 については、平成 24 年 3 月に模擬患者と本学教員による検討会議を開催。 3 については、実習報告会（平成 23 年 11 月 18 日）において学生からの報告会の開催と実習訪問による聞き取り結果を共有し、今後の実習教育に役立てる。実習終了後に学生が記入し提出をする学外実習アンケートを回覧しその結果を関係教員で共有する。	1309 演習室, 4511 大学院セミナー室, 4102 地域連携センターなど。	実施目的 コミュニケーション障害学科教員間での情報の共有化を進め、学生支援の一層の充実をはかるとともに、模擬患者を通して更に実習教育の充実を図る。 実施内容 3 つ以内のキーワード：学生支援、模擬患者による臨床教育の充実、臨床教育に対する外部意見の検討 1. 学生指導および支援に関する情報を学科内教員間で共有化するための「学生会議」を開催する。 2. 模擬患者による臨床教育の充実を図るために、模擬患者担当者との教育内容の検討。 3. 実習指導者会議や実習訪問などの機会を通じて、学外臨床実習施設の指導者から、“外から見た”本学科の臨床教育に関する意見・助言を得る。
保健福祉学部 人間福祉学科	三原 博光	①実習報告会：2 年生：平成 23 年 11 月 18 日（金）、3 年生：平成 23 年 12 月 7 日（水） ②実習指導者担当会議：平成 23 年 12 月 7 日（水） ③三原市こころネット祭りへの参加：平成 24 年 3 月	三原キャンパス	テーマ 教員の実習指導能力の向上及び学生の福祉実践能力構築 実施目的 ①実習報告会（人間福祉学科 2、3 年生）②実習指導者担当会議③地域の精神障害者に対する社会福祉実践活動を通して、教員・学生が福祉実践能力を養う 実施内容 ①実習報告 ②学生受け入れ実習施設の実習担当者と実習に伴う様々な問題点を協議する。特に新カリキュラムに伴う実習の問題点について討議をする。 ③精神障害者とその家族、施設スタッフによる模擬店、講演会にボランティアとして参加予定。